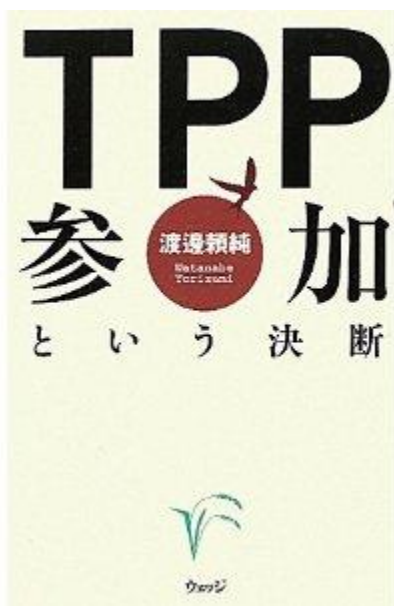




TPP交渉への早期参加を求める国民会議 シンポジウム



慶應義塾大学SFC
総合政策学部
渡邊 頼純
2012年4月19日

TPPの意義

- **輸出市場へのアクセス改善**: 米国や豪州市場における対韓劣後の是正
- **アジア太平洋地域における貿易・投資のルール作り**: 21の交渉分野の内16分野はルール交渉(日本にとって新たな分野は「分野横断的事項」などごく一部)
- **FTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)へのステップ**: APECのバインド化、クリティカル・マスの形成⇒⇒⇒WTOへの回帰

今なぜTPP交渉に参加するのか？

- TPPにおけるルール交渉は「待ったなし」、日本の主張を盛り込むのであれば、早ければ早いほど良い **the sooner, the better!**
- **日EU EPAや日中韓EPAなどにも好影響**：日本のTPP「本気度」がEUや中国を動かす
- 2012年は政治の年、中国やロシアなどにおける政治的リーダーの交代は地域の不安定要因。日本としては、米国や豪州との連携強化で盤石の態勢を構築すべき年。**TPPは安全保障のソフト・インフラとも言える**

参加早期実現へ向けての課題

- **TPPについての理解促進**: 交渉を進めるためには国民の理解とサポートが必須条件
(http://web.sfc.keio.ac.jp/~s10683fh/tpp_sansei/)
- **農政改革のグランド・デザインの提示とその実現のための行程表作成**: 関税撤廃・低減による食品加工業の競争力強化、輸出市場開拓等
- TPP参加国に進出している日本企業が現地で直面している障壁や問題点を**交渉における「攻め弾」**としてリストアップする作業を開始